平成26年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年８月２日

上 場 会 社 名	株式会社ダイショー	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	2816	URL	http://www.daisho.co.jp
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	松本　洋助
問合せ先責任者	（役職名） 執行役員管理本部総務人事部長兼広報室長	（氏名）	堀脇　裕之　　(TEL) 092-611-9340
四半期報告書提出予定日	平成25年８月９日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第１四半期の業績（平成25年４月１日～平成25年６月30日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第１四半期	3,950	7.5	8	△94.3	12	△92.1	7	△92.2
25年３月期第１四半期	3,675	―	155	―	157	―	99	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第１四半期	0.80	―
25年３月期第１四半期	10.30	―

(注)平成24年３月期第１四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年３月期第１四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第１四半期	14,406	6,947	48.2
25年３月期	14,312	7,015	49.0

（参考）　自己資本　　26年３月期第１四半期　　6,947百万円　　25年３月期　　7,015百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	8.00	―	8.00	16.00
26年３月期	―				
26年３月期(予想)		8.00	―	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年３月期の業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	8,040	3.3	220	△54.3	220	△54.9	120	△61.4	12.43
通期	17,700	3.0	810	△27.1	800	△29.4	440	△34.8	45.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期１Ｑ	9,868,800株	25年３月期	9,868,800株
②　期末自己株式数	26年３月期１Ｑ	215,925株	25年３月期	215,925株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期１Ｑ	9,652,875株	25年３月期１Ｑ	9,652,949株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料３ページ「（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
３．四半期財務諸表 …… 5
（１）四半期貸借対照表 …… 5
（２）四半期損益計算書 …… 7
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期累計期間におけるわが国経済は、政権交代後の金融緩和をはじめとした各経済成長政策への期待感から株高や円安が進展し、景況感に一部明るい兆しが見られましたが、雇用及び所得環境の改善の遅れなど懸念材料もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、消費者の節約志向、低価格志向の定着から厳しい価格競争が継続する一方、円安により原材料費や燃料費は高い水準にあり、引き続き厳しい収益環境が続きました。

このような状況のもと、当社は「飛躍のための経営基盤を構築する」という方針を掲げた平成28年３月期までの中期経営計画のスタートを切りました。当第１四半期累計期間におきましては、たれ・ソースなどの主力製品の収益力強化、惣菜部門を中心とした業務用製品の販路開拓に取り組み、売上の拡大を目指してまいりました。また、多様化する食のニーズに応じた「即食」向け製品の品揃えを拡充する取り組みを積極的に展開しました。生産面では、既存工場より新工場である九州工場への液体調味料ラインの移設を継続的に実施し、事業成長を支える基盤を強化いたしました。

製品群別の概況は、以下のとおりであります。

液体調味料群においては、『おろし入り 鶏むね肉のあっさり煮の素』や『山芋ねばねば丼のたれ』等、さまざまな食シーンに対応した新製品の投入を図り、売上を牽引いたしました。また、九州工場に新たに設備を導入し、業務用「オイルソース」類等の製造が可能となり、これらの積極的な拡販を行いました。この他、『塩こうじ漬けのたれ』等の業務用製品も順調に推移いたしました。この結果、売上高は24億98百万円（前年同期比111.5%）となりました。

粉体調味料群においては、から揚げ粉を中心とした業務用製品は堅調に推移し、『味・塩こしょうつめかえ用』等の小売用製品も売上を伸ばしましたが、売上高は10億56百万円（前年同期比96.5%）となりました。

その他調味料群は、新たに取り組んでおります「即食」向け製品として投入しました『５つの味のスープはるさめ』が好調に推移いたしました。この結果、売上高は３億95百万円（前年同期比116.7%）となりました。

以上の結果、当第１四半期累計期間における売上高は、39億50百万円（前年同期比107.5%）となりました。利益につきましては、新工場の償却負担等により、営業利益は８百万円（前年同期比5.7%）、経常利益は12百万円（前年同期比7.9%）、四半期純利益は７百万円（前年同期比7.8%）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ93百万円増加し、144億６百万円となりました。固定資産が総資産の65.6%を占め、流動資産は総資産の34.4%を占めております。主な資産の変動は、「受取手形及び売掛金」が１億８百万円、「商品及び製品」が59百万円それぞれ増加し、「現金及び預金」が50百万円減少したことによります。

負債は、前事業年度末に比べ１億61百万円増加し、74億58百万円となりました。流動負債が負債合計の58.4%を占め、固定負債は負債合計の41.6%を占めております。主な負債の変動は、「短期借入金」が７億円増加し、「未払法人税等」が２億９百万円、「賞与引当金」が１億76百万円、「長期借入金」が１億15百万円それぞれ減少したことによります。

純資産は、前事業年度末に比べ67百万円減少し、69億47百万円となりました。主な純資産の変動は、配当77百万円の支出と四半期純利益７百万円の計上により「利益剰余金」が69百万円減少したことによります。自己資本比率は48.2％となり、前事業年度末に比べ0.8％下降しました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年３月期決算短信（平成25年５月９日公表）において発表いたしました業績予想からの変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産または流動負債として繰延べる方法を採用しております。

② 税金費用の計算

当第１四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,335	1,284
受取手形及び売掛金	2,333	2,441
商品及び製品	498	557
原材料	272	280
その他	443	423
貸倒引当金	△46	△27
流動資産合計	4,836	4,961
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,199	3,136
土地	2,763	2,763
リース資産（純額）	1,453	1,495
その他（純額）	1,137	1,122
有形固定資産合計	8,554	8,518
無形固定資産	18	16
投資その他の資産		
投資その他の資産	906	914
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	903	910
固定資産合計	9,476	9,445
資産合計	14,312	14,406

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,240	1,181
短期借入金	760	1,460
未払金	1,117	1,005
未払法人税等	235	26
賞与引当金	356	180
役員賞与引当金	18	4
その他	406	495
流動負債合計	4,135	4,354
固定負債		
長期借入金	905	790
退職給付引当金	425	437
役員退職慰労引当金	513	522
その他	1,317	1,354
固定負債合計	3,161	3,104
負債合計	7,297	7,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	870	870
資本剰余金	379	379
利益剰余金	5,863	5,794
自己株式	△114	△114
株主資本合計	7,000	6,930
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	15	16
評価・換算差額等合計	15	16
純資産合計	7,015	6,947
負債純資産合計	14,312	14,406

（２）四半期損益計算書
第１四半期累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	3,675	3,950
売上原価	1,972	2,293
売上総利益	1,702	1,657
販売費及び一般管理費	1,546	1,648
営業利益	155	8
営業外収益	9	13
営業外費用	8	10
経常利益	157	12
税引前四半期純利益	157	12
法人税、住民税及び事業税	57	4
四半期純利益	99	7

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

当第１四半期累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第１四半期累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年６月30日）

該当事項はありません。